

## ヒカリ引越しセンター

# ズーム見積もり開始

## 感染防止対策&効率化

【兵庫】平戸梶包運送（平戸伸和社長、神戸市中央区）の引っ越し業務を担うヒカリ引越しセンター（同）は、オンライン会議システム「Zoom（ズーム）」による無料見積もりを始め、非対面での感染防止対策、業務の効率化につなげている。動画投稿サイト「ユーチューブ」でリモート見積もりの手順を紹介するなど周知を図りつつ、ウイズコロナ時代に対応した展開を行う。

（黒須晃）

## ユーチューブで手順紹介

従来、引っ越し前の見積もりは対面方式で行っていたものの、新型コロナウィルス感染防止のため、5月からズーム見積もりを開始。遠方まで赴く必要がなくなるため、営業担当者の負担軽減につながり、時間と労力を省けるようになつ

た。新型コロナウィルス禍で引っ越し需要が低下し、同社への影響も小さくなつたが、将来的に需要が回復した時のためにノウハウの蓄積を進めている。

（スマホ）のカメラから運ぶ荷物を撮影してもらったりで、エアコンの取り外し上や、自転車や物干し竿といった家電の据え付けの有無、外回りの確認などを行って

いるユーチューブチャンネルで一層の周知を検討しており、8月29日にはリモート見積もりの手順を紹介する動画の撮影を行った。撮

影には植松氏も協力し、見積もり時の注意点や費用を安く抑えるためのポイントなどを説明した。

平戸社長は「引越し業界はこの一年、厳しい状況が続いている。しかし、この時期だからこそ挑戦したいと

め、「グーグルマップ」を画面共有して顧客と確認作業を行う。リモート見積もりは20~30分で完了。金額を算出次第、顧客に見積書をメール等で連絡する。見積もりを担当する植松博之営業課長は「画面上で顔を合わせることで信頼感が生まれるためか、リモート見積もりでの契約率は高いようだ」と感触を口にする。

また、昨年から開設しているユーチューブチャンネルで一層の周知を検討している。リモート見積もりの手順を紹介する動画の撮影を行った。撮影には植松氏も協力し、見

考っている。リモート見積もりはまだスタートから間もないため、まずは顧客への浸透を図っていく。事業を継続していくことでノウハウを蓄え、顧客の信頼につなげていきたい」と話している。



顧客のスマホのカメラから運ぶ荷物を撮影してもらう（一部画像処理）